

家畜衛生情報

沖縄県で CSF(豚コレラ)の連続発生(55 例目)を確認！

1月15日、沖縄県うるま市の養豚農場において、全国55例目となるCSFの疑似患畜が確認され、沖縄県におけるCSFの発生は**4事例7農場**となりました。

疫学調査チームの現地調査により、**加熱していない食品残渣の使用**が感染源として否定できない事例が確認されています。

適切な飼料の給与について再確認しCSFの発生を防ぎましょう。

55 例目

発生概況	発生農場：沖縄県うるま市の養豚農場 1,825 頭飼養
経緯	1月14日 国内52例目、53例目及び54例目の移動制限区域内(半径3km)にある農場において飼養豚が死亡しているとの報告を受け、家畜防疫員が立入検査を実施 1月15日 県の遺伝子検査の結果、CSFの疑似患畜と確認

これまでのCSF発生状況：全国**55事例**（防疫措置対象：94農場、4と畜場、162,396頭）

適切な飼料の給与について再確認をお願いします！

- 外部から飼料製品または飼料原料を導入する際には、製品または原料の内容、加熱状態について確認、把握してください。
- 食品循環資源の原材料（食品残さ）に動物由来品（牛、豚等の偶蹄類肉、肉製品等。ただし、乳、乳製品、卵、卵製品、魚及び魚製品等は除く。）が含まれているか確認してください。
- 上記の食品残さを含む、または含む可能性のある場合は、70℃以上で30分間以上、または80℃以上で3分間以上の加熱処理を計測しながら実施し、記録する必要があります。
- 加熱処理の記録は、一定期間保管してください。
- 加熱した飼料原料は、加熱前のもものと保管場所を分ける等、病原体による再汚染が起こらないよう対策を講じてください。



＼ 家畜の異常通報、飼養衛生管理に関する相談は家畜保健衛生所まで！ ／

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	県庁家畜防疫対策室	026-235-7232